

第3回 小金井市産業振興プラン策定委員会

日時：令和7年9月26日（金）

午後2時30分から

場所：東小金井駅開設記念会館・マロンホール

2階A・B会議室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 小金井市に関する統計整理について
- (2) 新プランに係る具体的な取組の検討について

3 その他

4 閉会

【配布資料】

- ・会議次第
- ・商業・工業基礎調査及びアンケート調査の統計分析（資料1）
- ・新プランに掲載する事業（案）（資料2）

小金井市商業・工業基礎調査及び「お気に入りの場所」に関するアンケート調査による分析

1. 年代別にみた場所に対するニーズ 「お気に入りの場所」に関するアンケート調査

○年代別に市内に求める場所をみると、概ね同様の傾向があることが分かる。年齢で傾向がみられる項目は「知的な時間を過ごせる場所」であり、年齢が高いほど多くなっている。

年代	件数	近所に住む人と出会える場所	同じ趣味や関心を持つ人と出会える場所	地域で文化・福祉、教育などの活動をしている人に出会える場所	誰にも邪魔されない、文化に触れたり、文化活動のきっかけを得られる場所	文化に触れたり、文化活動のきっかけを得られる場所	農やみどりに触れることができる場所	思い切り体を動かせることができる場所	知的な時間を過ごせる場所	賑やかな雰囲気を楽しめる場所	小金井ならではの食を楽しめる場所	センスのよいものを見回ることができる場所	自分の趣味や特技を発揮できる場所	特にない	その他
合計	153	19.6	40.5	24.8	30.1	38.6	42.5	31.4	27.5	15.7	35.9	32.0	20.3	3.9	5.2
10代	2	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20代	15	33.3	46.7	40.0	20.0	46.7	46.7	26.7	6.7	13.3	20.0	13.3	6.7	0.0	0.0
30代	21	19.0	38.1	28.6	38.1	42.9	38.1	33.3	19.0	4.8	19.0	4.8	4.8	0.0	0.0
40代	28	21.4	32.1	21.4	28.6	35.7	35.7	17.9	21.4	7.1	28.6	21.4	7.1	7.1	7.1
50代	34	14.7	32.4	17.6	32.4	26.5	44.1	32.4	17.6	8.8	17.6	17.6	8.8	2.9	2.9
60代	35	17.1	42.9	22.9	28.6	42.9	34.3	31.4	22.9	5.7	11.4	11.4	8.6	2.9	8.6
70代以上	18	11.1	50.0	33.3	27.8	22.2	38.9	5.6	22.2	0.0	22.2	16.7	5.6	5.6	0.0

2. 年代別にみた賑わい事業への参画意向 「お気に入りの場所」に関するアンケート調査

○いずれの年齢も「イベントに参加する立場」が多いが、70代以上において「ボランティアで協力する」が多いことが特徴に挙げられる。

年代	件数	企画・運営する立場	出店・出展する立場	企画・運営者や出店者・出展者を紹介する立場	ボランティアで協力する立場	イベントに参加する立場	イベントのスポンサー的な立場	関わりたいと思わない	その他
合計	153	7.2	4.6	0.7	19.0	56.2	2.6	24.8	7.8
10代	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20代	15	0.0	6.7	6.7	6.7	60.0	0.0	13.3	6.7
30代	21	19.0	0.0	0.0	9.5	42.9	0.0	28.6	0.0
40代	28	3.6	7.1	0.0	10.7	60.7	0.0	17.9	0.0
50代	34	5.9	2.9	0.0	8.8	44.1	0.0	26.5	11.8
60代	35	11.4	0.0	0.0	11.4	28.6	5.7	34.3	8.6
70代以上	18	0.0	0.0	0.0	38.9	22.2	5.6	22.2	11.1

3. 居住地別にみた消費行動の場所 [小金井市商業・工業基礎調査]

○生鮮食品の購入場所をみると、居住地近くのJR中央線の駅が利用されていることが分かる。

地区	件数	口 武藏 周辺 小金井 駅 駅 南	口 武 周 金 駅 駅 北	東 小 金 井 駅 駅 周 辺	新 小 金 井 駅 駅 周 辺	寄 市 の 内 商 そ の 店 街 他 ・ 最	立 川	国 分 寺	武 藏 境	吉 祥 寺	府 中	新 副 都 心 ・ 本 心 橋 ～ 秋 銀 葉 座 原	そ の 他 市 外	答 無 回	
合計	1064	35.3	10.0	26.2	1.7	21.6	0.8	6.2	3.6	2.1	3.6	0.7	0.2	6.9	6.6
東町	131	16.0	3.1	57.3	10.7	16.0	1.5	1.5	13.7	3.8	1.5	-	-	4.6	4.6
梶野町	128	6.3	7.0	75.0	0.8	10.9	-	1.6	7.0	1.6	0.8	-	-	3.1	6.3
閑野町	48	18.8	18.8	35.4	-	29.2	-	4.2	-	-	2.1	2.1	14.6	8.3	
緑町	138	24.6	10.9	44.2	0.7	22.5	-	1.4	3.6	0.7	0.7	-	-	8.7	2.9
中町	73	49.3	1.4	24.7	2.7	19.2	-	-	1.4	-	-	-	-	6.8	8.2
前原町	120	61.7	5.0	3.3	-	20.0	0.8	5.0	1.7	2.5	15.8	1.7	-	3.3	9.2
本町	139	61.2	21.6	3.6	-	17.3	2.2	2.9	-	4.3	0.7	2.9	0.7	5.8	7.2
桜町	54	37.0	20.4	5.6	-	20.4	1.9	5.6	3.7	5.6	-	-	22.2	13.0	
貴井北町	100	34.0	18.0	-	-	20.0	1.0	27.0	-	-	1.0	-	-	11.0	10.0
貴井南町	127	39.4	1.6	-	-	44.1	0.8	14.2	-	1.6	10.2	-	-	3.1	3.1

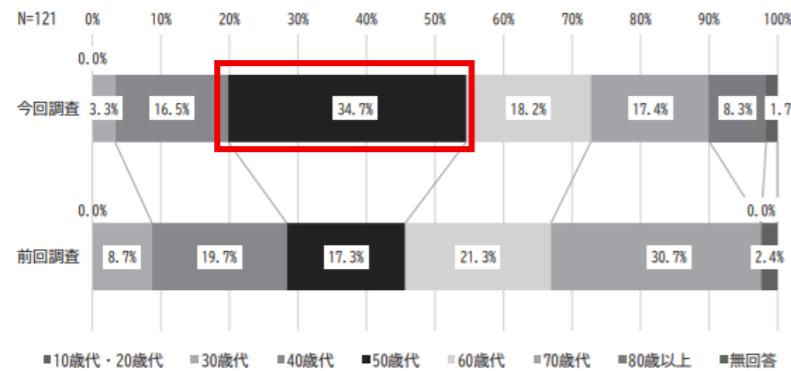
○外食先も居住地近くのJR中央線の駅近くの店が利用されているものの、桜町は例外である。

問12ウ 地区	件数	周 武 藏 小 金 井 駅 駅 南 口	周 武 藏 小 金 井 駅 駅 北	東 小 金 井 駅 駅 周 辺	新 小 金 井 駅 駅 周 辺	の 市 商 そ の 店 街 他 ・ 最 寄	立 川	国 分 寺	武 藏 境	吉 祥 寺	府 中	宿 副 都 心 ～ 秋 銀 葉 座 原 ～ 日	そ の 他 市 外	答 無 回
合計	1064	23.8	14.8	15.2	1.2	9.5	10.6	8.9	5.2	24.9	5.2	12.6	8.1	12.6
東町	131	10.7	5.3	29.8	2.3	6.9	7.6	3.1	13.0	34.4	3.8	9.2	1.1	27.6
梶野町	128	11.7	7.0	37.5	-	3.9	10.2	3.9	16.4	32.8	2.3	17.2	8.6	11.7
閑野町	48	14.6	14.6	22.9	6.3	22.9	10.4	6.3	6.3	20.8	4.2	10.4	6.3	22.9
緑町	138	22.5	22.5	28.3	0.7	7.2	12.3	5.1	12.3	29.7	1.4	14.5	10.1	8.7
中町	73	34.2	11.0	11.0	-	9.6	4.1	4.1	1.4	30.1	1.4	11.0	5.5	9.6
前原町	120	42.5	13.3	5.0	2.5	11.7	14.2	5.0	1.7	20.0	14.2	8.3	5.0	9.2
本町	139	31.7	28.1	3.6	1.4	10.8	17.3	6.5	3.6	24.5	2.2	18.0	13.7	11.5
桜町	54	14.8	13.0	3.7	-	9.3	7.4	3.7	1.9					

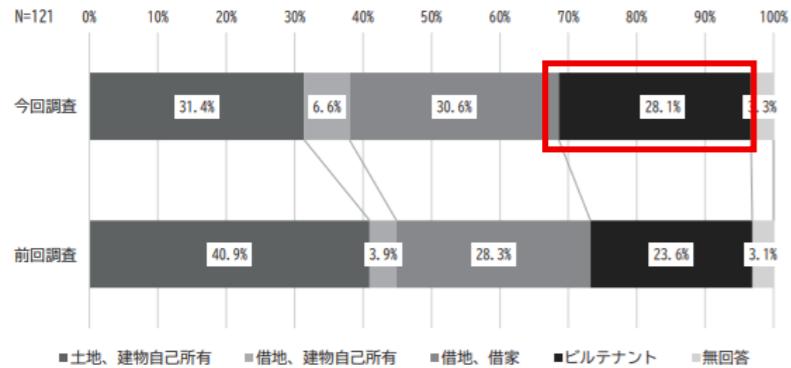
小金井市商業・工業基礎調査にみる事業所（商業分野）の実態と課題認識

1. 事業所の実態

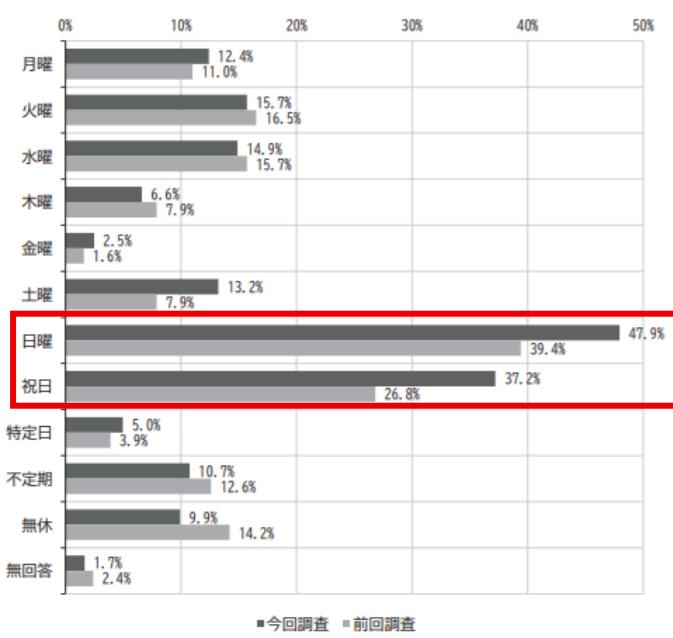
○経営者の年齢について前回調査（5年前）と比較すると、70歳代が少なくなり、50歳代が増えている。



○事業所における所有形態をみると、土地・建物自己所有が減少し、ビルテナントが増えていることからチェーンが増え、チーンを任される店長・オーナーが若返りの要因と推察される。

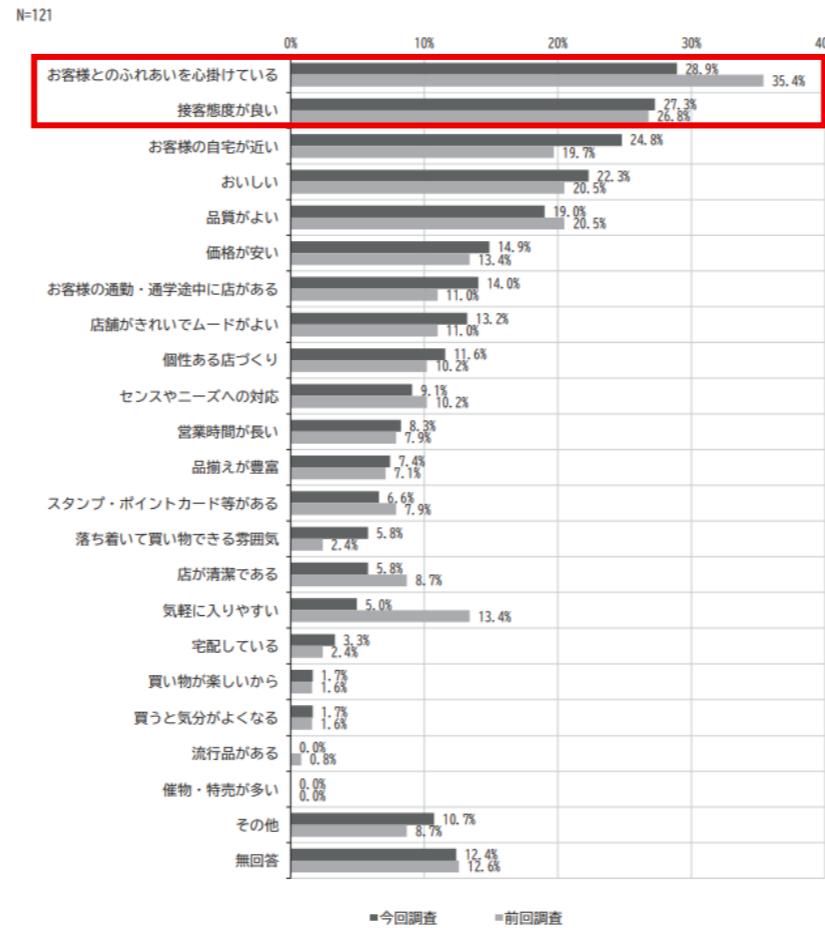


○主な定休日をみると日曜・祝日が最も多い、週末の利用がしにくくなっている状況にある。

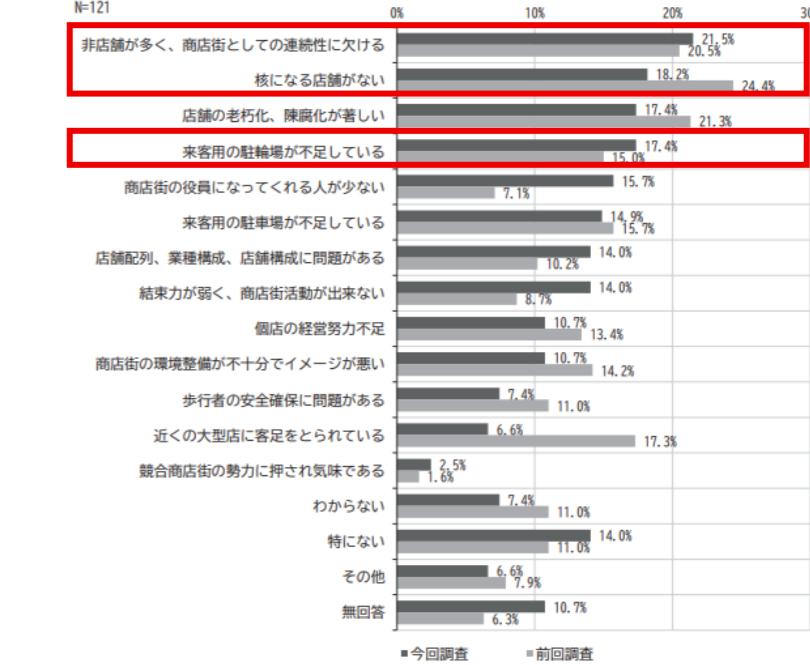


2. 事業所や商店街の特長と課題

○店の強みに対する自己評価では「お客様とのふれあいを心掛けている」「接客態度が良い」が特に多くなっており、対面サービスを強みとしていることが伺える。



○商店街の課題については「非店舗が多く、商店街の連続性に欠ける」「核になる店舗がない」「店舗の老朽化、陳腐化が著しい」「来客用の駐輪場が不足している」など委員会で聞かれた意見が見られる。

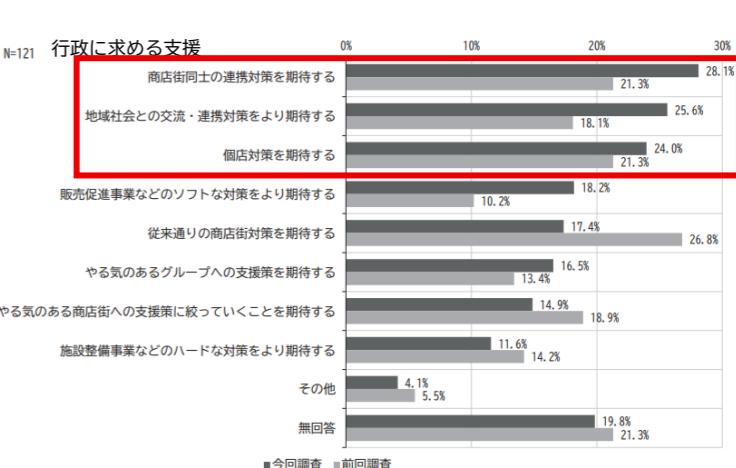
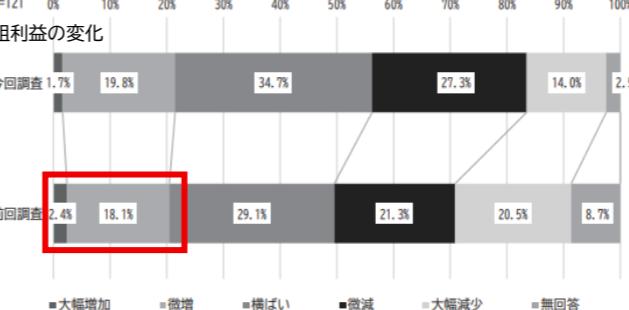
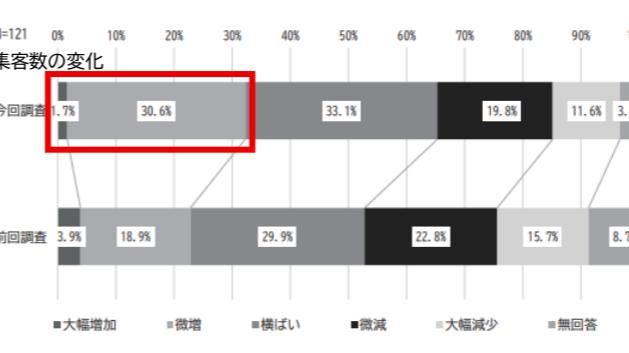


3. 事業所の集客と経営状況

○集客数の変化については、微増が3割となっており、増加している店舗の方が多い。

○ただし、原材料・エネルギー価格、人件費の高騰などにより粗利益が増加している割合は集客数が増加している割合よりも低い。

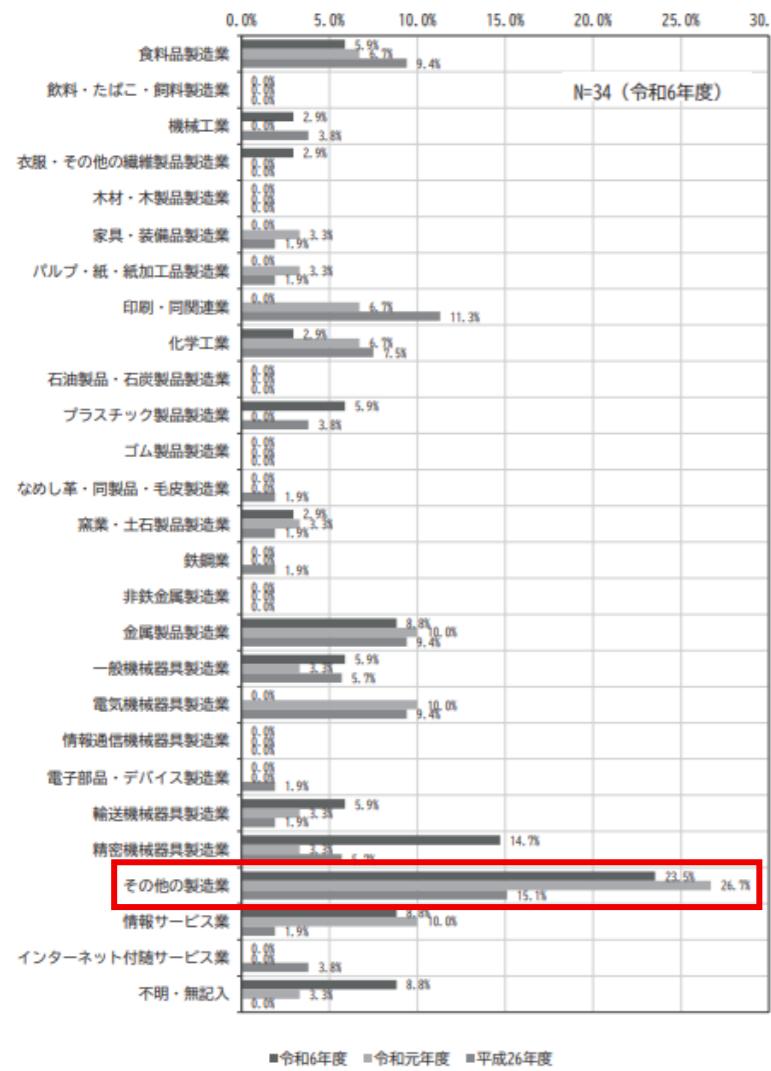
○行政に求める支援をみると、商店街同士の連携対策や地域社会との交流・連携対策などの商店街支援に加え、個店対策も多くなっている。



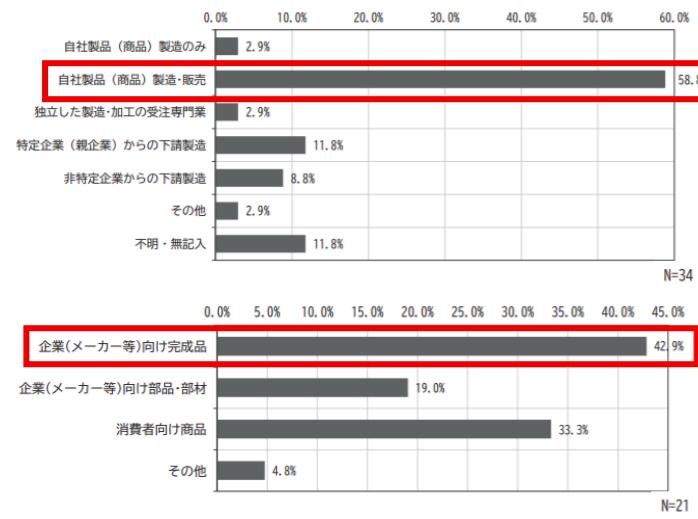
小金井市商業・工業基礎調査にみる事業所（工業分野）の実態と課題認識

1. 工業分野の事業所の業種

○業種をみるとその他の製造業が最も多く、精密機械器具製造業、金属製品製造業、情報サービス業が続く。

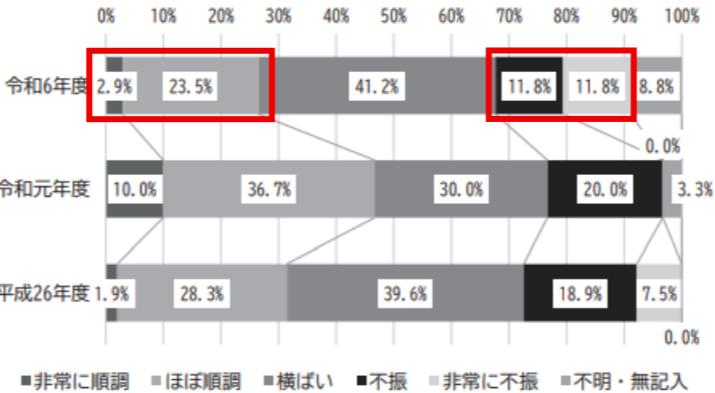


○製造形態をみると、自社製品（商品）製造・販売が最も多くなっており、また企業（メーカー等）向け完成品を製造している事業者が多い。



2. 経営状況

○経営状況をみると、前回調査と比較して非常に不振という割合が多くなっており、順調である事業者の割合が大きく減少している。



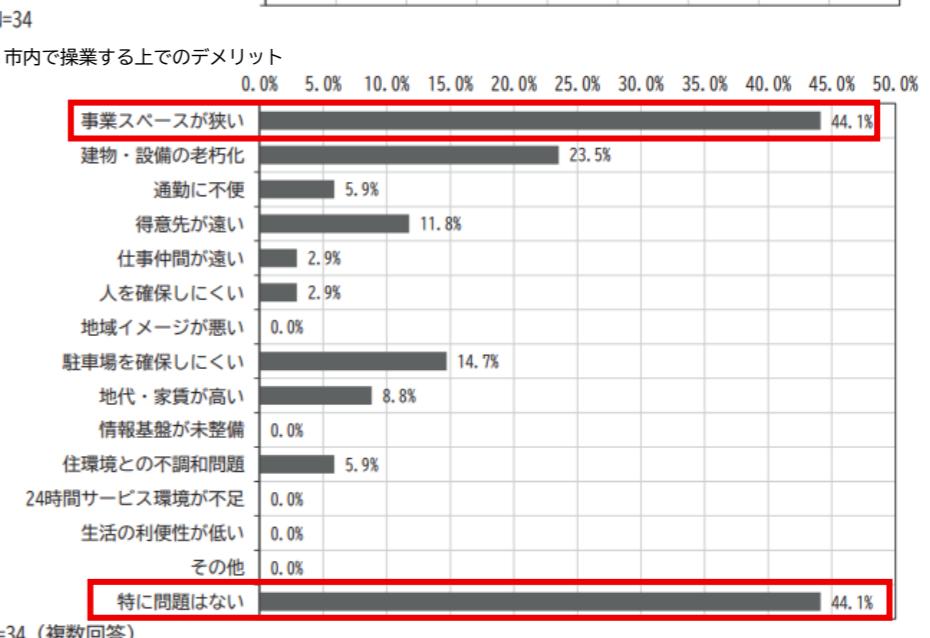
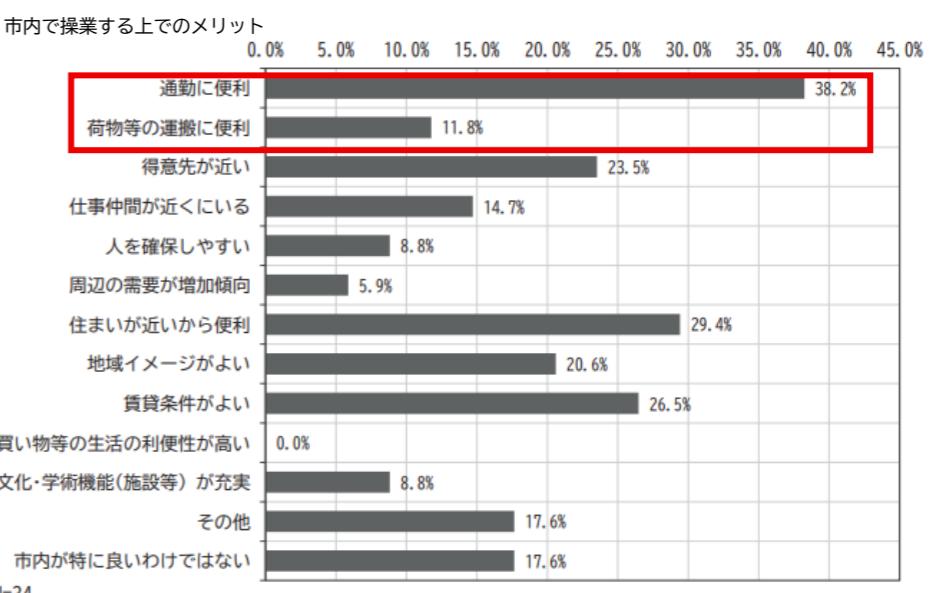
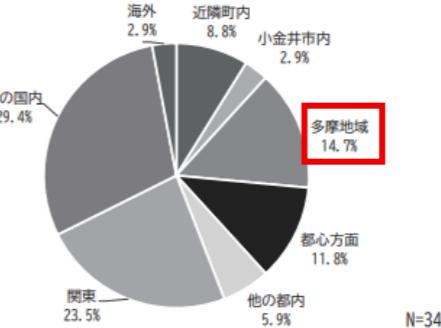
3. 事業所としての強み・弱み、期待する支援策

○市内において操業する上での利点をみると、通勤に便利、住まいが近いから便利という通勤利便性が評価されており、住宅地に立地するメリットを感じていることが伺える。

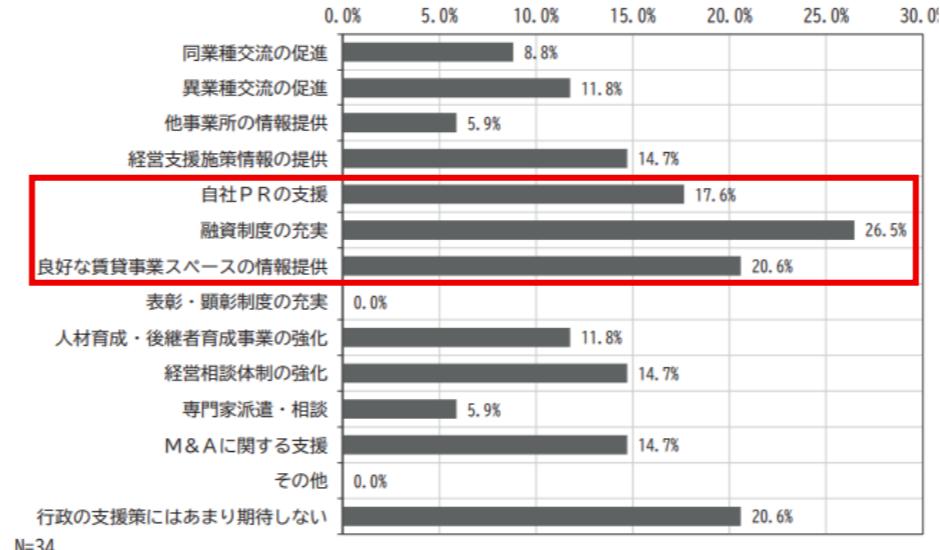
○一方、市内で操業する上での課題については、半数程度は課題を感じていないものの、課題を感じている事業者のほとんどが、事業スペースが狭いことを課題として挙げている。

○市に求める支援策としては融資制度の充実が求められているほか、良質な賃貸事業スペースの情報提供、自社PRの支援などの情報面での対策が期待されていることが伺える。

○主な取引先・販売先の所在地をみると、関東ないしはその他国内が半数程度を占めているなかで、多摩地域が14.7%と一定の割合を有している。



行政に期待する支援策



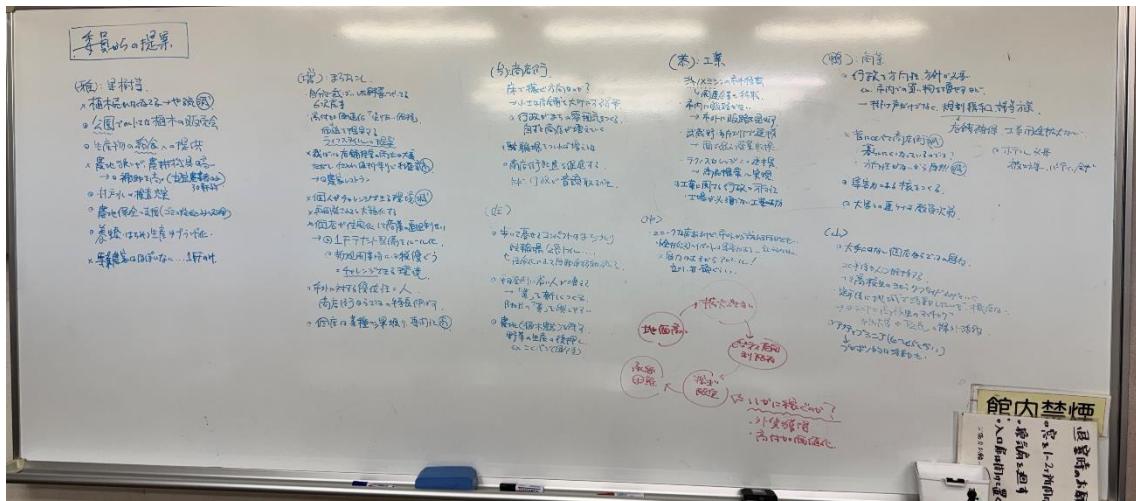
N=34

N=21

新プランに掲載する事業（案）

1. 前回のふり返り

■前回委員会での記録



■共通して大切にされていた視点

- ・やる気のある事業者・農業者が稼げるようになること
- ・小金井らしい小さな個店が増えること
- ・閑静な住宅地を維持しながら新しい産業が定着すること
- ・市民や市外在住者のまちへの関心を醸成すること

■上記の視点に照らして取りまとめた事業（案）

- ①公園等オープンスペースでの植木の販売会【事業者主体、行政主体】
 - ②農地保全・農業振興のための生産支援【行政主体】
 - ③小金井産はちみつのブランド化【事業者主体】
 - ④商店の専門性・個性伸長のための学び場づくり【事業者主体、行政主体】
 - ⑤空き店舗を活用した出店機会の提供と開業支援【事業者主体、行政主体】
 - ⑥テナント確保による商店の連携維持に向けた地区計画の勉強会【事業者主体、行政主体】
 - ⑦K0-T0・VP入居者の市内定着に向けたニーズ調査（都市計画施策への準備）【行政主体】
 - ⑧空き店舗を活用した駐輪場の提供【事業者主体、行政主体】
 - ⑨販路拡大のための展示会等出店助成【行政主体】
 - ⑩アクティビティの活躍につなげる機会づくり【行政主体】
 - ⑪若者のまちへの関心を醸成する機会づくり【行政主体】
- ※事業者主体には、商工会、商店会などの事業者組合が含まれます。
- ※行政主体には、まちおこし協会が含まれます。

上記⑦については用途地域見直しや地区計画などの都市計画施策について言及いただきました。これについては都市計画担当課とも協議し、次回都市計画マスタープラン改定時にニーズを踏まえた検討を見据え、次期プラン期間ではリサーチを深めることといたしました。また⑥については、地区計画は住民発意を基本としているため、次期プラン期間においては策定に向けた勉強会を立ち上げることが大事かと思っており、商店会・町会の手揚げ方式で進めていくことが考えられ、そのように変更しています。

2. プランの体系と事業（案）の照合

方針	事業（案）
①住みたい・働きたい・訪れたい と思うような魅力を磨く	③小金井産はちみつのブランド化 ⑤空き店舗を活用した出店機会の提供と開業支援
②暮らしていて楽しい、訪れて樂 しいと思える魅力を数多く生み 出す	①公園等オープンスペースでの植木の販売会 ⑥テナント確保による商店の連担維持に向けた地区 計画の勉強会
③魅力を生み出し、発信する人と 出会い、増やす	②農地保全・農業振興のための生産支援 ④商店の専門性・個性伸長のための学び場づくり ⑦KO-TO・VP 入居者の市内定着に向けたニーズ調査 (都市計画施策への準備) ⑩アクティブシニアの活躍につなげる機会づくり
④魅力を生み出す人をつなげ、応 援する人もつなげる	⑪若者のまちへの関心を醸成する機会づくり
⑤誰もが安心して出かけられる環 境をつくる	⑧空き店舗を活用した駐輪場の提供
⑥事業・活動を継続していくため の仕組みをつくる	⑨販路拡大のための展示会等出店助成

3. 各事業（案）について

①住みたい・働きたい・訪れたいと思うような魅力を磨く

「まちにブランド感を感じること」という方向性を踏まえ、まちの魅力を生み出し、磨き上げることで、小金井市に住みたい、市内で働きたい、遊んだり学んだりするために訪れたいと思うようなまちをつくっていきます。まちの魅力に引き寄せられ、多くの人が集うことがまちの活気につながります。

③小金井産はちみつのブランド化—道草市との合流

- ・課題=市内農業者の効果的な経営の支援とブランド力の向上
- ・目的=小金井ブランドと言える商品をつくる
- ・概要=現在市内農業者で取り組んでいる養蜂活動「小金井ガーデン」に参画する農業者・商業者を拡大し、製品であるはちみつを小金井ブランドに育てていく。また持続可能な農業についての啓もう普及にも生かす。
- ・参考=小金井ガーデン <https://koganeihoney.theshop.jp/>

⑤空き店舗を活用した出店機会の提供と開業支援

- ・課題=商店街における空き店舗の対策と商店の連担性の維持
- ・目的=空き店舗と新規出店希望者のマッチングを図る
- ・概要=空き店舗が発生した場合には、所有者と商店会にて合意の上で商店会として期間限定での出店希望者を募りながら、店舗所有者と新規出店者とのマッチングを図り、新規店舗の獲得を目指す。

②暮らしていて楽しい、訪れて楽しいと思える魅力を数多く生み出す

「暮らしていく楽しいこと」という方向性を踏まえ、市内各所に魅力を感じる場所や機会を生み出し、暮らすことや訪れることが楽しいと思えるまちをつくりていきます。それら場所や機会が至る所にあり、近くに住み、働く人が楽しむことに加えて、まちを回遊して楽しむ人も増えていくことで活気が生まれていきます。

①公園等オープンスペースでの植木の販売会➡道草市との合流

- ・課題＝植木農家の販売先の減少／自宅での植木需要の低下
- ・目的＝植木とのタッチポイントをつくる
- ・概要＝現代住宅にもマッチした小さめの植木を主として公園等で販売会を実施することで、植木が市民の目に触れる機会をつくり、購入意欲を高めていく。

⑥テナント確保による商店の連担維持に向けた地区計画等の勉強会

- ・課題＝空き店舗の住宅化による商店の連担性が損なわれることの回避
- ・目的＝マンションへの建替時にも1階はテナントとして整備することをルール化する
- ・概要＝地区計画や建築協定などの都市計画・建築行政における制度適用により、土地利用や建物用途は制限することができる。ただし、当該制度の適用にあたっては、適用されるエリアの住民の合意に基づく住民発意に端を発する必要があるため、市の事業である「まなびあい出前講座」を利用して、希望する商店会・町会を対象に制度の勉強会を実施する。

③魅力を生み出し、発信する人と出会い、増やす

「まちを盛り上げる人が多いこと」という方向性を踏まえ、魅力づくりに関わる意欲のある事業者を増やすとともに、まちの魅力を生み出すことや、それを誰かに伝えることに関心のある人を掘り起こし、育てることで、主体を増やしていきます。そして、そのような人たちによって新たな魅力が生み出され、活気あるまちになっていきます。

②農地保全・農業振興のための生産支援

- ・課題＝都市農業固有の営農継続の困難さに対する支援
- ・目的＝認定農業者に対する支援拡充による小金井農業の振興
- ・概要＝農耕機具の購入補助や学校給食への利用斡旋などの販売先との接点づくりなど、認定農業者を対象として生産・販売の両面において支援を拡充し、農業で稼ぐことの可能性を高め、農地保全や営農継続を促す。

④商店の独自性・個性伸長のための学び場づくり

- ・課題＝商店の個性や専門性が地元個店の大型商業施設に対する優位性となる
- ・目的＝専門的で個性あるサービスを提供する商店を増やす
- ・概要＝ここでしか体験できない購入できないサービスや、フェイス・トゥ・フェイスの関係性など、大型商業施設では提供できない個店ならではの独自性や個性が魅力となる。そのための商店経営について商店主同士で学び合う機会をつくり、独自性・個性のある商店を増やす。

⑦KO-T0・VP 入居者の市内定着に向けたニーズ調査（都市計画施策への準備）

- ・課題＝創業支援事業に参加する事業者の市内定着の低さ
- ・目的＝オフィス確保に向けた方策立案のためのニーズ調査
- ・概要＝KO-T0 と農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者の独立後の市外流出は課題となっている。用途規制上オフィスが整備しにくいといった現状があるものの、特に KO-T0 については大きなオフィスを必要としているとは思い難い。適切で効果的な対策を講じるためにも、両施設入居者の独立後の意向をリサーチし、市内定着の難しさの原因を把握し、その原因を除去する対策を検討する。

⑩アクティブシニアの活躍につなげる機会づくり

- ・課題＝市内在住のスキル・ノウハウのあるアクティブシニアを活かす
- ・目的＝活躍の場につなげるためのステップとなる入口の提供
- ・概要＝小金井市には都内企業に勤務し、ビジネス経験が豊かな高齢者が多数居住しています。そのような高齢者がアクティブシニアとなり、市内の様々な事業をサポートするとともに、自ら事業を興すようなアクションをしていくことで市内産業の風景は変わります。そのステップとして、イベントの担い手が不足している商店会などを中心として市内の賑わい創出事業への参画機会を発信し、マッチングを図ります。
- ・参考＝こくぶんじカレッジ <http://mystyle-kodaira.net/event/kokubunji-college/>

④魅力を生み出す人をつなげ、応援する人もつなげる

「人ととの関係が深いこと」という方向性を踏まえ、事業者や活動する市民をつなげ、連携することで相乗効果を生み出します。また、魅力を生み出す人とそれを楽しむ人たちとの関係も深めることで、魅力が地域に定着するようにします。様々な立場の人たちの関係が育まれることで徐々に支え合うコミュニティとなり、活気づくりへとつながります。

⑪若者のまちへの関心を醸成する機会づくり

- ・課題＝高等学校が多数立地するなか高校生を消費者・担い手として呼び込めていない
- ・目的＝まちづくり活動を通じた若者のシビックプライドの醸成
- ・概要＝市内には都立・私立の高等学校が立地し、専門学校や大学もある。多数の若者が市内で学んでいる状況を踏まえ、それら学校の生徒が商店街や賑わいづくり事業へに参画する機会をつくることで、小金井というまちへのかかわるなかで関心を深めるよう促す。結果、大人になって小金井を選ぶ、ないしは小金井で買い物をするといった行動につなげる。
- ・参考＝加古川東高等学校「放課後プロフェッショナル」

⑤誰もが安心して出かけられる環境をつくる

「安心して出かけられること」という方向性を踏まえ、都市整備部門や警察、商店会等と連携し、高齢者はもとより、子どもと一緒に人にとっても、安心して出かけられる歩行環境や買物環境を整えていきます。誰もが安心して魅力を楽しむ環境になることで、多くの人が市内で買物を楽しみ、活気が生まれていきます。

⑥空き店舗を活用した駐輪場の提供

- ・課題＝駐輪場がないため、自転車を利用した商店街利用が難しい
- ・目的＝商店街主導で駐輪場を経営し、集客を図る
- ・概要＝空き店舗が発生した場合には所有者と協議の上で店舗フロアを活用した駐輪場を経営してもらうよう促すことで、商店街における駐輪場を確保する。店舗所有者はビジネスになり、駐輪場を確保することにより商店街は来街者が獲得できる。さらに駐輪場利用者のクーポンを発行することで一般利用者を商店街の顧客につなげるとも可能となる。
- ・参考＝駐輪場シェアサービス #MINIPA <https://minipa.jp/>

⑦事業・活動を継続していくための仕組みをつくる

「事業・活動を継続していくための仕組み」は、地域の産業的基礎の活性化・持続可能性にとって重要です。そこで、産業振興の土台となる方向性として位置づけ、商業、工業、農業、観光を問わず、市内における事業が継続されるよう支援を行い、まちの活気の土台となる産業的基礎を確立します。

⑧販路拡大のための展示会等出店助成

- ・課題＝製造業において市内事業者を対象とした BtoB は成立困難
- ・目的＝市外事業者とのマッチング機会として展示会の出店を促す
- ・概要＝現状、団体での展示会出展の支援があり、販路拡大に一定の成果が上がっている。一方で、事業者単独で国内外の展示会に出展するための補助がなく、独自に販路を開拓したいという意欲ある事業者は自費で行っている状況である。市内製造業の持続的な経営を支援するため、販路拡大のための展示会出展を補助する制度をつくる。